

## 今日のトピック 2016年の振り返り（為替市場）

# 前半は円高基調、10月以降は米ドル高が進行

### ポイント1 リスク回避から円高基調 10月以降は米ドル高傾向強まる

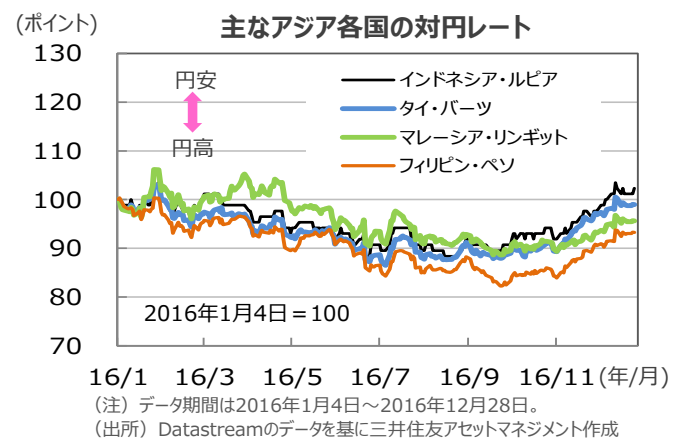
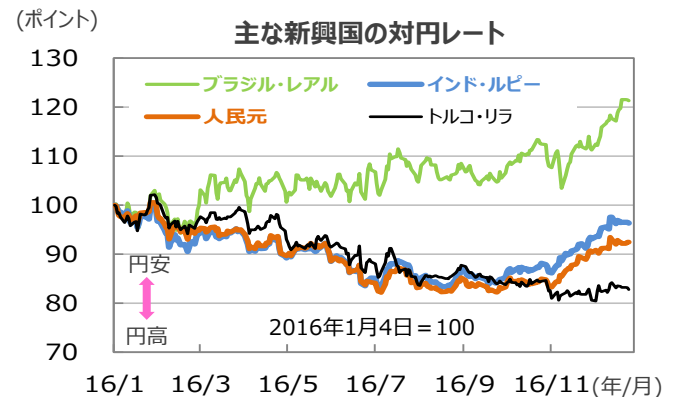
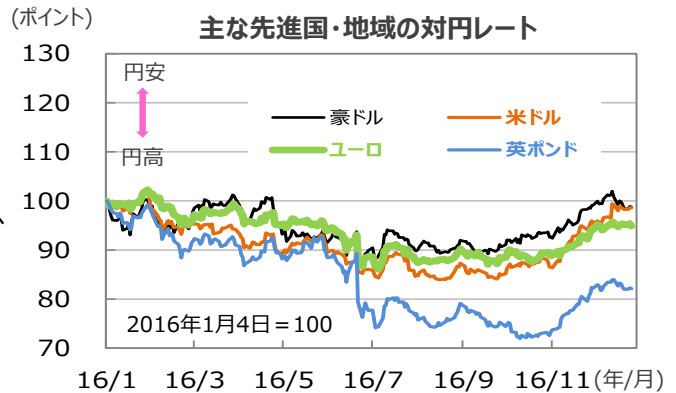
- 2016年の為替市場は、年前半に円高が進み、10月以降は米ドル高が進行する展開となりました。年前半は、①中国景気の悪化懸念、②原油価格の大幅下落、③米国景気の不透明感等を背景に、リスク回避の姿勢が強まり、円を買う動きが強まりました。特に6月は、英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱が選択されたことから英ポンドは暴落、他の通貨も調整を余儀なくされました。円/米ドルは一時100円を割るまで急騰しました。
- 10月以降は、好調な米国景気を背景に年内利上げが意識されたことや11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで財政拡大型の景気回復期待が強まったことなどから、米ドル高が進みました。

### ポイント2 新興国は対円で二極化 年後半アジアは底堅く推移

- 新興国では人民元等が弱くなる一方、ブラジル・レアルが堅調に推移し、対円で二極化が進みました。ブラジル・レアル高は政権交代と経済政策への期待が背景です。また、主なアジア通貨は新興国の中では下落率が相対的に低く推移しました。

### 今後の展開 米ドル高モメンタムが働こう

- トランプ次期米大統領の経済政策や米利上げへの期待から米ドル高モメンタムが働きやすい環境となりそうです。一方、過度なドル高は米企業の収益を圧迫する懸念があり、「強いアメリカ」を志向するトランプ次期米大統領が過度なドル高を容認しない可能性もあります。次期政権のムニューチン次期財務長官の今後の発言には注意が必要です。



ここも  
チェック! 2016年12月28日 2016年の振り返り（世界の債券市場）  
2016年12月27日 2017年の米国経済及び株式・債券市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。